

---

[http header]

HTTP ヘッダーは, HTTP リクエストおよび HTTP レスポンスのフィールドで, メッセージや本文のセマンティクスを変更したり, より詳細に説明したりするための追加情報を渡す. ヘッダーは大文字と小文字を区別せず, 行の先頭から始まり, 直後に ':' とヘッダー自体に依存する値が続く. 値は, 次の CRLF またはメッセージの最後で終了する.

1. 一般ヘッダー

リクエストとレスポンスの両方に適用され, 最終的に本文の中で送信されるデータとは関係の無いヘッダー

2. リクエストヘッダー

取得するリソース又はクライアント自体に関する詳細情報を含むヘッダー

3. レスポンスヘッダー

レスポンスについての追加情報, 例えば場所やサーバー自身についての情報 (名前, バージョン, 等) を含むヘッダー

4. エンティティヘッダー

コンテンツの長さや MIME タイプなど, エンティティの本文に関する詳細情報を含むヘッダー

などが存在する.

[cookie]

Web サーバーからユーザーの Web ブラウザに送られる, ユーザーのデータを保存しておくためのファイルを指している cookie と類似しているものにキャッシュがある. キャッシュとはユーザーがサイトに訪れた情報を一時的に保存することにより, 2 回目に同じサイトを訪れた際に表示スピードがあがるようにするためのものである. cookie は Web サイトに訪れた際に入力した情報を保存するのに対し, キャッシュはユーザーが閲覧した Web ページを記憶しておくという違いがある.

[sessionID]

Web アプリケーションなどで、通信中の利用者を識別して行動を捕捉し、利用者ごとに一貫したサービスを提供するために付与される固有の識別情報

コンピュータ上で直接実行されるソフトウェアの場合は OS などがセッションを管理するためソフトウェア側での制御は不要なことが多いが、Web では HTTP 自体にセッションの識別・管理のための仕組みが存在しないため、複数の利用者がアクセスしてきた場合にこれを識別する仕組みが必要となる。

そのような場合に発行されるのがセッション ID で、Web サーバと Web ブラウザで情報を共有する仕組みである Cookie などを応用し、サーバが初回アクセス時にセッション ID を発行してクライアントが保存。以降は通信のたびにクライアント側からセッション ID を申告することで、同時にアクセス中の利用者の識別・同定を行う。

利用者自体を継続的に識別するユーザー名などの識別子とは異なり、機械的に生成されて一時的に利用されるもので、一連の通信が終了すると破棄される。同じ利用者が次に通信を開始すると新しいセッション ID が与えられる。